

備前市事務事業評価シート

(平成24年度事業)

事業の概要		
事業開始年度	平成17年度	
根拠法令・例規等	備前市特定疾患医療附帯療養費交通費補助金交付要綱	
総合計画	大項目 基本目標 02	健康でやさしさあふれるまちづくり
中項目 基本施策 01	やさしさあふれるまちづくり	
小項目 施策 03	障がい者(児)福祉	
事務事業名	10	特定疾患医療附帯療養費交通費補助事業
問担当課(室)	社会福祉課	
合先 職・氏名	障害者福祉係長 江見清人	
電 話	64-1824	
このシート作成に要した時間	1.0 時間	

事業の意図する成果とつながらる成果指標を設定

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	特定疾患の患者	
目的(何のために)	特定疾患の患者に対し、受診医療機関への交通費の補助を行うことで経済的負担を軽減を図る。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	特定疾患の患者に対し、受診医療機関への交通費の補助を行うことで経済的負担を軽減する。	

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			Do
事業名	事業の説明	優先度	
特定疾患医療附帯療養費交通費補助事業	特定疾患についての医療で通院する交通費の一部を補助する。		
目的を達成するため実施した事業			

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
事業費	直接事業費	千円	2,035	1,991	1,984
	必要人員費	千人	0.10人	0.03人	0.10人
	事業費	千円	2,551	2,110	2,778
決算額	国庫支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
財源	市				
	その他()				
一般財源					
受益者負担比率	%		2,551	2,110	2,778
結果指標名	単位		平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
結果指標	交通費補助件数	説明	交通費補助の決定件数		
	結果指標量		193	205	201
	対前年比	%	-	106.2%	98.0%
	活動コスト	円	2,129,000	2,110,000	2,778,000
	単位当たりコスト		11,031	10,293	13,821

事業の成果						
成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値	
		目標値(A)				
交通費補助件数	実績値(B)	218	205		到達目標値	
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
成果指標設定の考え方・式や説明						
申請に基づく事業のため、目標値の設定は困難。						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください				Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある				妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい C
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い				
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている				効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい B
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している				有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい B
市民参画度						

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

進行年度(H25年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	昨年度申請者が増加したが、昨年度同様に広報等で周知を徹底していく。						

総合評価		
広報等での周知により申請者の増加に繋がった。今後も継続して対象者への周知を徹底していく。	総合評価	B
	A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい	

平成26年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	市独自の取組で申請者も多いため、現状を継続していく。						

Action